

# 第65回 通常総会議案

期日：令和3年4月16日(金)14:00～16:50

会場：Zoom ウェビナーを利用したウェブ開催



## 第65回 通常総会

1. 令和2年度事業報告 (第1号議案)
2. 令和2年度決算報告および監査報告 (第2号議案)
3. 令和3年度支部役員 (案) (第3号議案)
4. 令和3年度事業計画
5. 令和3年度予算
6. 特別会員表彰・永年会員表彰・地盤工学貢献賞表彰・中部支部賞表彰  
※表彰者には賞状郵送
  - (1) 特別会員の表彰
    - 〔表彰特別会員 (50年) : 4団体〕
    - 株式会社不動テトラ 中部支店 4級
    - 玉野総合コンサルタント株式会社 4級
    - 名古屋鉄道株式会社 4級
    - 株式会社日衡 4級
    - 〔表彰特別会員 (35年) : 1団体〕
    - 一般社団法人中部地質調査業協会 4級
    - 〔表彰特別会員 (25年) : 2団体〕
    - 株式会社ジーエルプラン 4級
    - 応用地質株式会社中部事務所 3級
    - 〔表彰特別会員 (10年) : 1団体〕
    - 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所 4級
  - (2) 永年会員の表彰
    - 可児 幸彦 氏
    - 赤井 静夫 氏
    - 中川 直美 氏
  - (3) 地盤工学貢献賞の表彰
    - 岐阜大学 工学部附属 インフラマネジメント技術研究センター
  - (4) 中部支部賞 (研究奨励賞) の表彰
    - 名古屋大学大学院 酒井 崇之 氏
    - 「傾斜地盤上の既設高盛土の表層置換・押え盛土工の耐震性に関する数値解析的検討」
  - (5) 中部支部賞 (技術賞) の表彰
    - 中日本建設コンサルタント株式会社 川井 望 氏
    - 「管渠周辺地盤における空洞進展メカニズムと空洞対策の優先度評価」

# 目 次

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告 .....	1
第 2 号議案 令和 2 年度収支決算報告および令和 2 年度監査報告 .....	1 1
第 3 号議案 令和 3 年度支部役員（案） .....	1 4
令和 3 年度事業計画 .....	1 7
公益社団法人地盤工学会中部支部規程.....	2 0
本部理事・第 8 期代議員・顧問・事務局名簿 .....	2 2

## 第 1 号議案

### 令和 2 年度事業報告

#### 1. 第 64 回通常総会

年月日	会 場	参加人数	内 容
R2.4.24 ～4.30	コロナウィ ルス感染拡 大のため書 面にて開催	書面審議 11 名 (委任状 288) 40%※ [3 月会員数 653 名+92 社]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度事業報告</li> <li>・ 令和元年度決算報告および会計監査報告</li> <li>・ 令和 2 年度事業計画</li> <li>・ 令和 2 年度予算</li> <li>・ 令和 2 年度支部役員</li> </ul>

※支部総会は支部に所属するすべての会員の委任状を含む 20 分の 1 以上の出席をもって成立する

#### 2. 商議員会

議長：小高 猛司

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R2.4.21 ～4.24	コロナウィ ルス感染拡 大のため書 面にて開催	[商議員 44 名] (内承諾回答 14 名, 否認回 答 0 名, 異議 無で委任 30 名 とした)	(第 1 回幹事会と合同開催) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各委員会・部会活動</li> </ul> 承認事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 64 回通常総会議案書</li> </ul>
2	R2.9.25	ZOOM に よるオンラ イン開催	44 名(含幹事) (内商議員 7 名 委任状 21 名) [商議員 28 名]	(第 3 回幹事会と合同開催) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 2 年度事業計画実施状況</li> </ul> 承認事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員交代について</li> <li>・ 各委員会・部会報告および今後の行事予 定(特にコロナ禍での対応について)</li> <li>・ 支部予算執行状況</li> <li>・ 令和 2 年度事業企画賞の審査員の選出</li> <li>・ 令和 2 年度地盤工学会賞「研究奨励賞」 と「地盤工学貢献賞」の推薦について</li> <li>・ 外部団体後援依頼</li> </ul>
3	R2.2.19	ZOOM に よるオンラ イン開催	44 名(含幹事) (内商議員 10 名委任状 18 名) [商議員 28 名]	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各委員会・部会の活動および令和 3 年度 事業計画・予算案</li> </ul> 承認事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 3 年度事業計画・予算案</li> <li>・ 令和 2 年度地盤工学会中部支部賞</li> <li>・ 広報部会準備 WG の設立について</li> <li>・ 令和 3 年度事務局体制</li> </ul>

#### 3. 代議員会

議長：中井 健太郎

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R2.7.16	ZOOM に よるオンラ イン開催	6 名	<u>第 1 回代議員会議題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代議員会の役割について</li> <li>・ 支部表彰委員会への委員選出について</li> <li>・ 特別会員増加策について</li> <li>・ 本部支部連絡協議会について</li> </ul> 支部活動活発化に対する意見交換

2	R2.12.4	ZOOMによるオンライン開催＋メール審議	7名	<u>第2回代議員会議題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部表彰委員会への委員選出について</li> <li>・ 各部会の活動状況の確認、支部活動活性化に関する意見交換</li> </ul>
---	---------	----------------------	----	---

#### 4. 幹事会

議長：久保 裕一

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R2.4.21 ～4.24	コロナウィルス感染拡大のため書面にて開催	44名 (含商議員)	(第1回商議員会と合同開催) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各委員会、部会活動</li> <li>・ 地盤工学会誌の令和2年度支部編集委員および読者モニター</li> <li>・ 第64回通常総会議案書</li> </ul>
2	R2.7.17	ZOOMによるオンライン開催	18名	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度事業計画実施状況</li> <li>・ 本部通常総会</li> <li>・ 本部支部連絡協議会</li> <li>・ 理事会報告</li> <li>・ 各委員会・部会報告および今後の行事予定</li> </ul>
3	R2.9.25	ZOOMによるオンライン開催	44名 (含商議員)	(第2回商議員会と合同開催) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度事業計画実施状況</li> <li>・ 各委員会・部会報告および今後の行事予定</li> </ul>
4	R2.12.4	ZOOMによるオンライン開催	29名	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部理事会報告</li> <li>・ 各委員会・部会報告および今後の行事予定</li> <li>・ 支部予算執行状況</li> <li>・ 令和3年度事業計画案</li> <li>・ 令和2年度地盤工学会中部支部賞の募集</li> </ul>
5	R2.1.22	ZOOMによるオンライン開催	20名	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部理事会報告</li> <li>・ 各委員会・部会報告および今後の行事予定</li> <li>承認事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度支部事業計画・予算案</li> <li>・ 令和元年度地盤工学会中部支部賞</li> <li>・ 広報部会準備WGの設立について</li> </ul> </li> </ul>

#### 5. 部会連絡会議（臨時開催）

議長：小高 猛司

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R2.6.19	Zoom オンライン会議	各部部长、企画委員、事務局	コロナ禍における令和2年度の事業内容の修正計画について

#### 6. 本部支部連絡会議

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R2.7.21	Zoom による会議	代議員 80名 支部 16名 本部 20名	本部支部間の意見交換 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長挨拶</li> <li>・ 昨年度支部連絡協議会における指摘事項・要望事項への対応状況</li> <li>・ 本部支部間の意見交換</li> <li>・ 報告事項 など</li> </ul>

## 6. 委員会・部会

### 委員会・部会および委員長

委員会・部会	委員長
① 企画委員会	中野 正樹 (名古屋大学)
② セミナー部会 (地盤工学に関するセミナー運営委員会)	久保 裕一 (中部土質試験協同組合)
③ 技術報告会部会 (調査・設計・施工技術報告会運営委員会)	神谷 浩二 (岐阜大学)
④ シンポジウム部会 (中部地盤工学シンポジウム運営委員会)	◎ 藤井 幸泰 (名城大学)
⑤ 見学会部会 (見学会運営委員会)	◎ 和田 尚久 (名古屋港湾空港技術調査事務所)
⑥ 信州地盤部会 (信州地盤環境委員会)	古本 吉倫 (長野工業高等専門学校)
⑦ 若手技術者部会 (若手技術者の会)	余川 弘至 (中部大学)
⑧ シニア部会 (シニア活性化委員会)	◎ 利藤 房男 (名古屋大学)

(◎ : 令和2年度より委員長)

#### (1) 企画委員会

委員長：中野 正樹

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R2.8.4	Zoomによる 遠隔会議	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度企画委員会活動方針の確認</li> <li>次年度以降の支部体制について</li> <li>部会再編成について</li> <li>特別会員へのサービスについて</li> <li>その他：地盤品質判定士会中部支部、災害調査団と災害協定について、ほか</li> </ul>
2	R2.8.27～ 9.19	メール審 議	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度「地盤工学会賞」候補について</li> </ul>
3	R2.9.8～ 9.19	メール審 議	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度「地盤工学貢献賞」候補について</li> <li>令和2年度「地盤工学会出版賞」候補について</li> <li>令和2年度「事業企画賞」候補案および審査員選出について</li> </ul>

#### (2) セミナー部会 (地盤工学に関するセミナー運営委員会)

委員長：久保 裕一

	年月日	会場	参加人員	内容
2	R2.7.9	名城大学	小高支部長 久保部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度のセミナーの活動方針について</li> <li>各講師の先生方に講師を依頼</li> <li>8月から11月にかけてオンラインでセミナーの講師と講義内容の検討</li> </ul>

#### (3) 技術報告会部会 調査・設計・施工技術報告会運営部会

委員長：神谷 浩二

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R2.4.8	メール会議	36名	第1回運営委員会 1. 委員名簿について 2. 第29回調査・設計・施工技術報告会について 実施方針、論文査読など
2	R2.9.16	Web会議	23名	第2回運営委員会 1. 第29回調査・設計・施工技術報告会について (論文集発刊) 2. 中部支部賞(技術賞)の推薦について 3. 第30回調査・設計・施工技術報告会について (企画、予算計画)

(4) シンポジウム部会 (中部地盤工学シンポジウム運営委員会) 委員長: 藤井 幸泰

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R2.5.20	オンライン (Google Meet、Zoom、Microsoft Teams)	8名	第1回運営委員会 ・第32回地盤工学シンポジウムに関して 新型コロナ禍で名古屋大学 ES 館 ES ホールでの開催を中止し、オンライン開催を検討した ① プログラムについて 一般発表を募集する、特別講演は中止 ② 設営・運営などについて 10月3日(土)開催 Zoomを利用したオンライン開催 論文概要募集、論文原稿提出期日も再検討 運営側のマニュアル作成など
2	R2.8.28	オンライン (Zoom ウェビナー、Zoom ミーティング)	11名	第2回運営委員会 ・第32回地盤工学シンポジウムに関して ① プログラムについて 一般発表14件 ② 設営・運営などについて Zoom ミーティング マニュアル作成、ホストの役割 前日と前々日の接続テスト 事務局からの Zoom 情報の通知 ③ 研究奨励賞・発表賞について 研究奨励賞1件 優秀発表者賞3件(順位なし、翌週発表) ④ 原稿 pdf ファイルについて 事前申込者、発表者、委員に隠し URL を連絡 (半年後に一般公開) ⑤ 資料・配布物の作成・印刷 オンラインなので無し
3	R2.10.3	オンライン (メール)	13名	第3回運営委員会 ・優秀発表賞、研究奨励賞に関する採点と集計 優秀発表賞 1-2 伊神友裕 氏 (名古屋工業大学) 2-5 酒井崇之 氏 (名古屋大学) 2-6 岩井裕正 氏 (名古屋工業大学) 研究奨励賞候補 酒井崇之 氏 (名古屋大学)
4	R2.11.20	オンライン (Zoom ミーティング)	9名	第4回運営委員会 第32回中部地盤工学シンポジウムの振返り 第33回中部地盤工学シンポジウムの計画 ① 開催日: 令和3年8月10日(仮) オリンピック後の平日で検討中 ② 開催場所: オンライン ③ 特別講演候補(1件検討中) ・東日本大震災から10年の関連で ・気象学について(三重大の立花先生)
6	R3.3.15			第32回の論文の Web 一般公開
7	R3.3.15			会告の作成、HP へのアップロード

## (5) 見学会部会

委員長:和田尚久

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R2.4.23	メール審議	9名	1. 令和2年度市民見学会開催判断(見送り) 2. 見学部会員の勤務体制確認
2	R2.7.29	中部支部ホ ーテビル	6名	1. 第1回見学会運営委員会 2. 今年度の体制 3. 令和2年度の年間スケジュール
3	R2.11.13	メール審議		第2回見学会運営委員会 1. 令和3年度見学会の開催に向けた検討(バス ツアー形式にとらわれないプログラム、昼食 を挟まないプログラムを検討) 2. 令和3年度見学候補地のリストアップ
4	R3.3.16	中部支部ホ ーテビル	8名	第3回見学会運営委員会 1. 令和3年度見学会の開催判断に資する社会 状況の確認(新型コロナウイルス感染症に関 する動向など) 2. 令和3年度活動方針(案)の策定

## (6) 信州地盤部会(信州地盤環境委員会)

委員長:古本 吉倫

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R2.10.1	メール審議	*	第1運営委員会 ・ 委員名簿の確認 ・ 第一回講演会および見学会の企画
2	R3.2.6 (中止)	長野高専地 域共同テク ノセンター		コロナ禍で次年度に延期

## (7) 若手技術者部会(若手技術者の会)

委員長:余川 弘至

	年月日	会 場	参加人数	内 容
1	R2.7.7	Zoom によ るオンライン 会議	14名	・ 本年度の部会計画等について ・ 学生交流会について→中止の方向で調整 ・ 代替行事も実施しない方針 →シニア部会との連携および勉強会の充実 ・ 学生交流会の見直し ・ シニア部会との連携 学会 HP の Q&A の活性化 ・ Zoom 等を利用した勉強会の実施 10/9、11/13、12/11 の3日間を予定
2	R2.7.9~ R2.10.8	メール審議	28名	・ Zoom 勉強会実施に向けた準備 ・ 新しい企画の提案検討 ・ シニア部会との連携による学会ホームページの Q&A に関する検討
3	R2.10.15	名古屋大 学	6名	・シニア部会との連携会議 議事:学会 HP の Q&A に関する各部会の役割の 確認、内容に関する検討
4	R2.10.23~ 継続中	メー ル 審 議 Google form	28名	・勉強会に関する改善点や要望等の洗い出し。 ・学会 HP の Q&A 充実に向けた活動 →現在も進行中
5	R2.12.10	名古屋大 学	6名	・シニア部会との連携会議



				議事予定:学会 HP の Q&A に関する各支部の活動状況等の報告等
--	--	--	--	------------------------------------

(8) シニア活性化委員会

委員長：利藤 房男

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R2.7.3	中部支部 ホーラビル	9名	<p><u>第1回委員会議題</u></p> <p>1. 前回(第15回)委員会議事録確認</p> <p>2. 第7回地盤工学サロン (以下の内容で計画していたが後日中止決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日程:11月9日(月)8:00~18:00</li> <li>・ 福井県敦賀市(年縞博物館、NEXCO 舞鶴若狭道向笠地区見学、水月湖)型バス(50人乗)で募集人数25名とする。消毒、マスク等、コロナ対策を実施する。</li> <li>・ コロナ次第で中止の可能性を含めて募集する。</li> <li>・ 日本応用地質学会中部支部、中部地質調査業協会に後援以来の予定。</li> </ul> <p>3. 地盤工学会中部支部若手会員部会との交流</p> <p>4. 地盤工学会 HP への Q&amp;A に関して</p>
2	R2.11.9	中部支部 ホーラビル	8名	<p><u>第2回委員会議題</u></p> <p>1. 第7回地盤工学サロンの来年度への延期を確認し、来年度の催行内容を検討した。</p> <p>2. 来年度のサロンは、1泊2日で、2021年10月開催とする。初日は今年度予定の福井県敦賀市(年縞博物館、NEXCO 舞鶴若狭道向笠地区見学、水月湖)とし、2日目は白山手取川ジオパークや福井県立恐竜博物館などを候補として検討する。なお、宿泊地は石川県の温泉地を予定。</p> <p>3. 地盤工学 Q&amp;A の進め方を検討した。</p> <p>4. 10/15 若手部会とシニア部会で Q&amp;A の進め方を検討した結果を踏まえ、シニア部会にて Q&amp;A の見本的なものを年度内に作成することとした。各委員で作成することとし、合計7テーマを選定した。選定したテーマは、地盤調査1件、施工3件、解析設計2件、地質1件、河川堤防1件。</p> <p>5. 来年度からは体系的な取り組みが必要なので、Q&amp;A 作成のフロー、体制を検討する。また、12/10 に再度シニア部会と若手部会の打合せを持つ予定</p>
3	R3.1.14	中部支部 ホーラビル		コロナ禍の緊急事態宣言発令中のため中止 次年度に延期

(9) 災害緊急調査団

団長：八嶋 厚、幹事長：沢田 和秀

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R2.9.30	岐阜県 郡上市	17人	<p>1. 郡上市大和地区 奥田洞谷砂防堰堤上部の斜面視察 (平成30年7月豪雨で山腹崩壊箇所が令和2年7月の豪雨により新たな崩壊が発生)</p>

## 7. 行事

### (1) 講演会

	年月日	会場	参加人員	内 容
1	R2.5.20～ R3.3.31	ウェブで 配信	閲覧数 473	支部長講演 「河川堤防の現地調査と室内試験～室内試験は 生き残れるのか?～」 名城大学 教授 小高猛司

### (2) 地盤工学に関するセミナー（セミナー部会 委員長：久保 裕一）

#### 【地盤調査ボーリング作業～室内土質試験見学会】

	年月日	会場	参加人員	内 容
1	R2.5.22 コロナウィル スの影響に より中止	中部土質試 験協同組合 (ジオ・ラボ 中部)		(予定であった行事) 1. ボーリング作業・室内土質試験見学会 第一部 <ボーリング作業、物理探査の見学> 第二部 <室内土質試験> 2. 各種室内試験(物理試験、静的、動的力学試験 など)

#### 【地盤材料試験実習セミナー】

	年月日	会場	参加人員	内 容
1	R2.6 コロナウィル スの影響に より中止	中部土質試 験協同組合 (ジオ・ラボ 中部)		(予定であった行事) 講習は、2日間に渡り5コースに別れて地盤材料試験 を実習する。 物理・材料試験コース 4名 ① 一軸・圧密試験コース 3名 ② 三軸圧縮試験コース 6名 動的試験コース 6名

#### 【講習会・セミナー】

	年月日	会場	参加人員	内 容
1	R2.8.21	Zoomによる オンラインセ ミナー 15:00～ 17:00	参加者 43名	初級オンラインリレーセミナー(第1回) 1. 題目「土の基本的性質」 2. 講師:小高猛司氏(名城大学) 3. 講演概要:「土」を計測するための質量や体積 にまつわる諸量のそれぞれの定義と関連性、 土工計算のポイント、土の工学的分類やコン システンシー、そして締固めなど、土の基本 的な性質とその求めた方から実務での利用 方法などについて解説
2	R2.9.18	Zoomによる オンラインセ ミナー 15:00～ 17:00	参加者 56名	初級オンラインリレーセミナー(第2回) 1. 題目:「土の水理特性」 2. 講師:神谷浩二氏(岐阜大学) 3. 講義概要: 土中の水は、生活用水などの水資源 として恩恵を与える一方で土砂災害などの原因や 汚染物質の移動媒体になったりする。土中水の挙 動を理解するため、透水性の評価方法、透水に起 因した破壊現象、浸透の理論的解釈など基本的 事項を中心に講義。
3	R2.10.9	Zoomによ るオンライ ンセミナー 15:00～ 17:00	参加者 52名	初級オンラインリレーセミナー(第3回) 1. 題目:「土の圧密」 2. 講師:野田利弘氏(名古屋大学) 3. 講義概要:飽和土の圧密現象について、有効

				応力概念などを踏まえて説明した上で、Terzaghiの一次元圧密方程式やe-log $\sigma$ 関係を利用した圧密沈下量や圧密経過時間の算出方法などについて講義。
4	R2.11.19	Zoomによるオンラインセミナー 15:00～ 17:00	参加者 59名	初級オンラインリレーセミナー（第4回） 1. 題目：「土のせん断」 2. 講師：中野正樹氏（名古屋大学） 3. 講義概要：「土の強度」を主たるテーマとして、「土の強度」とは何か、その「強度」はどのようにして求めるのか、得られた「強度」をどう活用するのか等について、土の種類、特に砂と粘土を対象に、その違いを示しながら解説

【出前講義】

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R2.8.26	Teamsによるオンライン講演（セントラルコンサルタント(株)）	約40名	「洪水による河川堤防の被災事例とその考察」 小高猛司氏（名城大学） セントラルコンサルタント(株)社内研修会の一環で開催 セントラルコンサルタント(株)中部支社の特別会員（4級）新規入会の特別特典で無償実施

（3）調査・設計・施工技術報告会（技術報告会部会 委員長：神谷 浩二）

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R2.6.19	名古屋大学 ES 総合館 ES ホール	（開催中止）	第29回調査・設計・施工技術報告会 ※口頭発表・特別講演会の開催を中止。論文集のみ発刊（支部ホームページにて7/7に無料公開） [一般発表（13編）] ① 高密度レーザ計測データの可視化技術を応用した斜面防災対策への適用事例－静岡県浜松市天竜区の道路斜面を対象として－（沢田和秀，千徳嘉親，大塚啓一，重松克弥，馬場美佳，小野貴稔，外山康彦，中村勇貴） ② 吹付法面劣化判定調査法の簡素化に向けて（浅野憲雄，権田直己，鈴木真，伊藤睦，沢田和秀） ③ 落石安定度調査のための小型加振機を用いた模擬岩塊の振動特性調査（石井智大，佐竹孝曜，宇賀田登，沢田和秀） ④ 落石の実態と落石対策施設計画への活用（伊藤匠司，笠原健司） ⑤ 岐阜豪雨災害における調査事例（滝藤泰臣） ⑥ 非破壊調査によるテールアルメ補強土壁の一体化に関する考察（市川将也，松尾一輝，沢田和秀，新田武彦，佐藤登） ⑦ 管渠周辺地盤における空洞進展メカニズムと空洞対策の優先度評価（前本尚二，川井望，前田健一，間下秀利） ⑧ 二重鋼矢板補強工法による海岸堤防の耐震対策事例（西川英希，山口進祐，野田涉，坂本達俊，吉邑一平）

			<p>⑨ 堤体基礎沈下箇所と天端縦断亀裂の関係(朱発瑜, 藤井孝文, 深見秀隆, 吉田和幸, 山田弘一, 平野浩之, 山田雄大, 杉井俊夫)</p> <p>⑩ 表層混合処理工法における混合精度の検証(吉村優治, 若原千恵, 京田達郎, 澁谷真由)</p> <p>⑪ 河川護岸保全に適用した機械攪拌翼併用超高压噴射攪拌工法とその事例(柳下和紀, 亀田昌紀, 吉田直人)</p> <p>⑫ 坊の塚古墳築造技術に関する一考察(近藤美穂, 西村勝広, 長谷健生, 可児幸彦, 富澤実, 山田富久)</p> <p>⑬ 「木曾古道」の経路と地形(山田富久, 中根洋治, 奥田昌男, 吉田光, 可児幸彦)</p>
--	--	--	---

(4) 中部地盤工学シンポジウム (シンポジウム部会 委員長: 藤井 幸泰)

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R2.10.3	Zoomミーティング	96名	<p>第32回中部地盤工学シンポジウム</p> <p>(1) 一般発表14件</p> <p>1-1 矢板周りの浸透破壊を対象とした模型実験における地盤材料がプレ破壊からポスト破壊現象へ及ぼす影響: 矢上 英里香(豊橋技術科学大学)</p> <p>1-2 河川堤防のパイピング破壊における間隙水圧の消散および浸透流の局所化の影響: 伊神友裕(名古屋工業大学)</p> <p>1-3 堤防模型実験の実務適用性と法尻排水工の対策効果の検討: 中村 宏樹(名城大学)</p> <p>1-4 セメント浸透注入工法による改良地盤の温度・酸の環境下における力学挙動に関する研究: 岩田 朋也(名古屋工業大学)</p> <p>1-5 鉛直振動荷重を受けるパイルドラフト基礎の水土連成変形特性に関する研究: 千野 伸晶(名古屋工業大学)</p> <p>1-6 構造的砂質土と疑似粘性土の単調ならびに繰返し載荷時の力学挙動: 藤田 薫(名城大学)</p> <p>1-7 落石防護土堤の性能設計法の確立に向けた重錘衝突実験: 杉山 直優(名古屋工業大学)</p> <p>2-1 既設小規模構造物を対象とした浮き型格子状地盤改良による液状化対策効果: 中谷 一貴(名古屋工業大学)</p> <p>2-2 細粒分流出量の違いが砂質土の単調・繰返しせん断挙動に及ぼす影響: 廣田 康起(名古屋工業大学)</p> <p>2-3 アンカー式補強土壁の地震時変形量の簡易的算定手法: 林 大瑚(豊田工業高等専門学校)</p> <p>2-4 異なる特性を持つ2つの地震動に対する泥岩高盛土の変形挙動に及ぼす影響: 犬飼 翔吾(名古屋工業大学)</p> <p>2-5 傾斜地盤上の既設高盛土の表層置換・押え盛土工の耐震性に関する数値解析的検討: 酒井崇之(名古屋工業大学)</p> <p>2-6 海底地すべりに関するクリープ挙動の分岐に関する線形安定解析: 岩井 裕正(名古屋工業大学)</p> <p>2-7 横ずれ断層の非一様な幾何形状がリーデルせん断の形成に及ぼす影響に関する検討: 岩井周平(名古屋工業大学)</p>

(5) 市民見学会 (見学会部会 委員長: 和田 尚久)

コロナウィルスの影響により令和2年度は中止

(6) 信州地盤環境委員会 (信州地盤部会 委員長: 古本 吉倫)

	年月日	会場	参加人数	内容
1	中止	中止	中止	秋の見学会
2	R2.11.16	Zoom (長野高専地域共同テクノセンター)	67名	第1回講演会: 水害・治水凶面史料のデジタル化資産と今後の活用について (講師: 山浦直人 土木・環境しなの技術支援センター理事) ※長野高専技術振興会と共催
3	R3.2.6	Zoom (長野高専地域共同テクノセンター)	31名	第2回講演会: 技術士スキルアップセミナー「先輩技術者の集大成を学ぶ7」 (講師: 静岡大学 日詰一幸教授) ※長野高専技術振興会と共催

(7) 学生交流会・技術者交流会・見学会 (若手技術者部会 委員長: 余川 弘至)

	年月日	会場	参加人員	内容
1	R2.10.9	Zoomによる オンライン会議	11名	・勉強会(テーマ: 土の基本的性質について) 講師: 名古屋大学 中井健太郎先生 参加者: 11名(うち1名非会員) 時間: 19:00~20:00

(8) シニア活性化委員会 (委員長: 利藤 房男)

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R2.11.9 (中止)	福井県敦賀市	募集人数 25名	1. 第7回地盤工学サロン 敦賀市(年縞博物館、NEXCO 舞鶴若狭道向笠地区見学、水月湖) 講師: 名古屋大学 田代むつみ先生 →来年度に延期決定。催行内容も再検討する。

(9) 連携: 土木学会中部支部出前講座

	年月日	会場	参加人数	内容
1	R2.9.18	名古屋港湾会館徳友会 (徳倉建設会員会社の会)	30名	「東日本大震災を踏まえて、南海トラフ巨大地震の液状化被害を考える」 講師: 野田利弘先生
2	R3.1.21	愛知県立海翔高等学校	22名	「液状化しそうな地盤とは? 作って調べてみよう」 講師: 中井健太郎先生

(10) 後援

	年月日	会場	内容
1	R2.10.14~15	吹上ホール	建設技術フェア 2020in 中部 主催: 名古屋国際見本市委員会
2	R2.10.2	名古屋国際会議場	中部ミニフォーラム 2020 主催: (一社)中部地質調査業協会

以上

第2号議案

令和2年度決算報告および監査報告、令和3年度予算

正味財産増減決算書・予算書

令和2年度決算:令和2年4月1日から令和3年3月31日まで  
令和3年度予算:令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

△は予算額に対して増(円)

(単位:円)

科 目	事業区分	令和3年度予算額	令和2年度予算額(A)	令和2年度決算額(B)	増減(A)-(B)	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>						
<b>1. 経常増減の部</b>						
<b>(1) 経常収益</b>						
事業収益		1,770,000	2,106,000	718,300	1,387,700	
調査研究基準事業収益	公2	910,000	1,547,000	195,300	1,351,700	
1) 見学会収益		45,000	45,000	0	45,000	
2) 中部地盤工学シンポジウム収益		135,000	255,000	70,000	185,000	
① シンポジウム参加収益		135,000	255,000	70,000	185,000	
3) 調査・設計・施工技術報告会収益		660,000	660,000	100,000	560,000	
① 報告会参加収益		460,000	460,000	100,000	360,000	2団体からの協賛金含
② 懇親会参加収益		200,000	200,000	0	200,000	
4) 若手技術者の会収益		20,000	180,000	0	180,000	
① 交流会参加収益		20,000	40,000	0	40,000	
② 懇親会参加収入		0	140,000	0	140,000	
5) 各種研究委員会収益		50,000	407,000	25,300	381,700	
① 信州地盤環境委員会収益		40,000	100,000	0	100,000	
② シニア活性化委員会収益		0	297,000	0	297,000	
③ 最新名古屋地盤図(追補版)販売収益		10,000	10,000	25,300	△ 15,300	
技術推進事業収益	公3	860,000	559,000	523,000	36,000	
1) 地盤工学に関するセミナー収益		860,000	559,000	523,000	36,000	
雑収益		1,000	152,000	8	151,992	
1) 受取利息	共通	1,000	1,000	8	992	
2) 雑収益		0	151,000	0	151,000	総会懇親会費等
本部交付金	共通	4,470,000	4,570,000	4,550,000	20,000	
経常収益計		6,241,000	6,828,000	5,268,308	1,559,692	
<b>(2) 経常費用</b>						
事業費:公1~4に関する支出		1,517,000	2,026,000	129,552	1,896,448	注1)
(1) 調査研究・基準事業費	公2	1,297,000	1,786,000	43,186	1,742,814	
1) 講演会費		10,000	10,000	0	10,000	
2) 見学会費		260,000	260,000	0	260,000	
3) 中部地盤工学シンポジウム開催費		50,000	236,000	3,000	233,000	
① シンポジウム開催費		50,000	236,000	3,000	233,000	
4) 調査・設計・施工技術報告会費		410,000	410,000	0	410,000	
① 報告会開催費		230,000	230,000	0	230,000	
② 懇親会開催費		180,000	180,000	0	180,000	
5) 若手技術者の会開催費		82,000	180,000	0	180,000	
① 交流会開催費		82,000	50,000	0	50,000	
② 懇親会開催費		0	130,000	0	130,000	
6) 各種研究委員会費		185,000	490,000	22,268	467,732	
① 信州地盤環境委員会		120,000	200,000	22,268	177,732	注2)
② シニア活性化委員会		65,000	290,000	0	290,000	
7) 自然災害の調査、研究事業費		300,000	200,000	17,918	182,082	
(2) 技術推進事業費	公3	190,000	210,000	76,366	133,634	
1) 地盤工学に関するセミナー開催費		170,000	190,000	66,370	123,630	
2) 土木学会連携出前講習費		20,000	20,000	9,996	10,004	
(3) 表彰関連事業費	公4	30,000	30,000	10,000	20,000	
事業費:支部運営に関する費用		4,584,000	4,124,000	4,171,732	△ 47,732	
(1) 臨時雇賃金		0	0	0	0	
(2) 会議費		375,000	525,000	101,522	423,478	
1) 支部総会費		300,000	300,000	101,522	198,478	
2) 懇親会費(総会后)		0	150,000	0	150,000	
3) 商議員会費		30,000	30,000	0	30,000	
4) 幹事会費		45,000	45,000	0	45,000	
5) 企画委員会費		0	0	0	0	
(3) 旅費交通費		30,000	80,000	26,000	54,000	
(4) 通信運搬費		120,000	120,000	88,812	31,188	
(5) 消耗品費		200,000	100,000	204,967	△ 104,967	
(6) 印刷製本費		120,000	120,000	48,664	71,336	
(7) 賃借料		0	0	0	0	
(8) 会場使用料		0	0	0	0	
(9) 保険料		0	0	0	0	
(10) 諸謝金		0	0	0	0	
(11) 委託費		3,680,000	3,100,000	3,605,905	△ 505,905	土木委託費、清掃費、HP保守費
(12) 支払手数料		9,000	9,000	7,920	1,080	
(13) 雑費		50,000	70,000	87,942	△ 17,942	
経常費用計		6,101,000	6,150,000	4,301,284	1,848,716	
評価損益等調整前当期経常増減額		140,000	678,000	967,024	△ 289,024	
評価損益等計		0	0	0	0	
当期経常増減額		140,000	678,000	967,024	△ 289,024	
<b>2. 経常外増減の部</b>						
<b>(1) 経常外収益</b>						
経常外収益計		0	0	0	0	
<b>(2) 経常外費用</b>						
経常外費用計		0	0	0	0	
当期経常外増減額		0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額		140,000	678,000	967,024	△ 289,024	
一般正味財産期首残高		18,782,346	17,815,322	17,815,322	0	
一般正味財産期末残高		18,922,346	18,493,322	18,782,346	△ 289,024	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>						
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	
指定正味財産期首残高		0	0	0	0	
指定正味財産期末残高		0	0	0	0	
<b>III 正味財産期末残高</b>						
		18,922,346	18,493,322	18,782,346	△ 289,024	

注1) 事業従事率については令和2年度、令和3年度とも【公2】は6、【公3】は4として計上

注2) 信州地盤環境委員会費用では、長野県地質ボーリング協会(一社)斜面防災対策技術協会からの補助金を観光バスのチャーター費の一部として充当する。

# 貸借対照表

令和3年3月31日現在

単位:円

科目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)-(B)
現金	0	20,109	△ 20,109
普通預金	985,666	673,906	311,760
現金預金合計	985,666	694,015	291,651
前払金	0	101,522	△ 101,522
預け金	17,796,680	17,019,785	776,895
流動資産合計	18,782,346	17,815,322	967,024
基本財産合計	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	18,782,346	17,815,322	967,024
預り金	0	0	0
仮受金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
一般正味財産	18,782,346	17,815,322	967,024
正味財産合計	18,782,346	17,815,322	967,024
負債及び正味財産合計	18,782,346	17,815,322	967,024

# 財産目録

令和3年3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
[資産の部]			
I 流動資産			
1 現金預金			
1)現金	手元保管	運転資金として	0
2)普通預金	三井住友銀行名古屋支店	運転資金として	985,666
2 預け金	本部保管	本部預り支部運転資金	17,796,680
流動資産合計			18,782,346
II 固定資産			
特定資産合計			0
固定資産合計			0
資産合計			18,782,346
[負債の部]			
I 流動負債			
流動負債合計			0
II 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計額			0
正味財産			18,782,346

## 令和2年度 監査結果報告

令和2年度公益社団法人地盤工学会中部支部監査を行った結果について、ご報告いたします。

支部の会計につきましては、関係帳簿を監査いたしましたところ、適正に執行されていたことを認めます。

又、支部役員の業務執行状況等につきましても監査いたしましたところ、適正にその業務をなされています。

令和3年4月8日

公益社団法人 地盤工学会中部支部

支部監事 中井健太郎

支部監事 岡島亮典



### 第3号議案

### 令和3年度 支部役員名簿

2021年4月9日 現在

#### 【支部長】

前田 健一 名古屋工業大学 社会工学専攻環境都市分野 高度防災工学研究センター 教授

#### 【副支部長】

山田 誠 (株)大本組名古屋支店 土木部 部長

沢田 和秀 岐阜大学 工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 教授

#### 【商議員】

林 正道 国土交通省中部地方整備局 企画部 部長

中原 正顕 国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 部長

中澤 敏雄 中部森林管理局 治山課 課長

木下 昌樹 独立行政法人水資源機構中部支社 副支社長

後藤 広司 独立行政法人都市再生機構中部支社 住宅経営部 次長

道浦 真 愛知県 建設局 局長

岡田 洋明 愛知県 農林基盤局 農地部 農地整備課 課長

船坂 徳彦 岐阜県 県土整備部 部長

若山 幸人 岐阜県 農政部農地整備課 課長

真弓 明光 三重県 県土整備部 理事

堀江 正征 三重県 農林水産部農業基盤整備課 課長

長縄 知行 静岡県 交通基盤部 部長

佐藤 欣久 静岡県 経済産業部農地局 農地計画課課長

田下 昌志 長野県 建設部 部長

飯島 好文 長野県 農政部農地整備課 課長

亀嶋 隆光 名古屋港管理組合 建設部技術管理課 担当部長

長嶋 利久 名古屋市緑政土木局 道路建設部 部長

鈴木 裕行 名古屋市住宅都市局 建築指導部 部長

渥美 靖秀 名古屋市住宅都市局 営繕部 部長

木村 秀治 名古屋市上下水道局 技術本部建設部 部長

大住 真二 名古屋市交通局 技術本部施設部 部長

松本 豊和 中日本高速道路(株)名古屋支社 環境・技術管理部 部長

沖森 克文 名古屋高速道路公社 メンテナンス事業部 部長

水野 和彦 中部電力(株) 技術開発本部 技術企画室 土建エンジニアリンググループ グループ長

岩中 隆訓 関西電力(株) 電力流通事業本部 水力事業本部保安グループ マネジャー

舟橋 秀磨 東海旅客鉄道(株) 東海鉄道事業本部工務部工事課 課長

圓戸 誠一郎 東海旅客鉄道(株) 建設工事部 担当部長

山縣 正明 名古屋鉄道(株) 鉄道事業本部土木部 部長

鈴木 太 一般社団法人中部地質調査業協会 理事長

櫻井 陽平	(株)竹中工務店 名古屋支店 技術部 計画1G
山田 徹	鹿島建設(株) 中部支店 土木部プロジェクト推進第2グループ グループ長
竹内 国雄	(株)三祐コンサルタンツ 技術第1部 課長
今井 良則	応用地質株式会社中部事務所 所長
富岡 伸芳	(株)ダイヤコンサルタント中部支社 支社長
梅崎 健夫	信州大学 工学部水環境・土木工学科 教授
奥村 哲夫	
大東 憲二	大同大学 情報学部 総合情報学科 教授
吉村 優治	岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
田中 耕太郎	大成建設(株)名古屋支店 営業部 統括営業部長
能島 暢呂	岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授
渡辺 修治	中日本高速道路(株)名古屋支社 環境・技術管理部 副部長
中西 晃	基礎地盤コンサルタンツ(株)中部支社 支社長
服部 稔	(株)ニュージェック中部支店 愛知事務所 技術部長
神谷 浩二	岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授
東野 隆之	国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 港湾高度利用調整官
中井 健太郎	名古屋大学大学院 工学研究科土木工学専攻 准教授
<b>【支部監事】</b>	
柚谷 正樹	愛知県 建設局河川課 課長
久保 裕一	中部土質試験協同組合 技術部 部長
<b>【幹事長】</b>	
小林 睦	豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
<b>【副幹事長】</b>	
岩井 裕正	名古屋工業大学 社会工学専攻環境都市分野 助教
<b>【幹事】</b>	
堀 豊裕	国土交通省中部地方整備局 中部技術事務所 副所長
浅倉 弘敏	国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所 副所長
花田 弘幸	独立行政法人水資源機構中部支社 事業部 次長
川口 暁子	独立行政法人都市再生機構中部支社 住宅経営部ストック技術課 主幹
益田 俊	愛知県 建設局河川課企画グループ 課長補佐
萩原 康司	愛知県 農林基盤局 農地部 農地整備課 課長補佐
林 桂太郎	名古屋市緑政土木局 道路建設部道路建設課橋梁整備係 係長
多和田 力	名古屋市上下水道局 技術本部建設部工務課設計第一係 係長
木村 幸貴	名古屋市交通局 技術本部施設部施設計画課工事係 工事係長
水谷 明嗣	名古屋高速道路公社 技術管理室 主任専門員
吉田 好男	中日本高速道路(株)名古屋支社 環境・技術管理部 環境・技術課 議長代理
成田 伸夫	中部電力(株) 技術開発本部技術企画室土建エンジニアリンググループ 副長

井奈波 周一	東海旅客鉄道(株) 東海鉄道事業本部施設部土木課 課長代理
永尾 拓洋	東海旅客鉄道(株) 建設工事部 担当部長
西田 尚史	名古屋鉄道(株) 鉄道事業本部土木部建設課 課長
小倉 一朗	鹿島建設(株)中部支店 土木部生産計画グループ 次長
渡辺 典男	大成建設(株)名古屋支店 土木部技術室 室長
佐藤 学	清水建設(株)名古屋支店 土木技術部 グループ長
中島 将貴	(株)大林組名古屋支店 土木工事第一部 担当部長
武藤 裕久	矢作建設工業(株) 地震工学技術研究所 主任研究員
太田 尚	応用地質(株)中部事務所 地震防災事業部 防災・減災技術部 副部長
河原 弘明	中央開発(株)中部支店 支店長
前本 尚二	中日本建設コンサルタント(株) 環境技術本部 技師長
三輪 賢太郎	五洋建設(株)名古屋支店 土木営業部 専門部長
深谷 雄二	玉野総合コンサルタント(株) 地球環境部 次長
谷口 一平	東邦地水(株) 技術本部 本部長
法安 章二	中部土質試験協同組合 専務理事
杉野 康博	(株)ダイヤコンサルタント中部支社 地盤・設計部 次長
五十嵐 央	基礎地盤コンサルタンツ(株)中部支社 地盤技術部 部長
河村 隆	信州大学 工学部水環境・土木工学科 准教授
岡島 賢治	三重大学大学院 生物資源学研究科 准教授
三浦 均也	豊橋技術科学大学 工学研究科 建築・都市システム学専攻 教授
棚橋 秀行	大同大学 工学部建築学科土木・環境専攻 教授
北 勝利	東海大学 海洋学部環境社会学科 教授
中村 吉男	愛知工業大学 工学部土木工学科 教授
水野 和憲	岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
古本 吉倫	長野工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
佐藤 祥昭	川崎地質(株)中部支社 技術部技術2グループ グループ長
田代 むつみ	名古屋大学 未来社会創造機構 特任講師
坂倉 満	名古屋市上下水道局 技術本部建設部 主幹
余川 弘至	中部大学 工学部都市建設工学科 助教
三崎 隆央	国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長
吉川 高広	名古屋大学大学院 工学研究科土木工学専攻 助教
藤井 幸泰	名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 准教授

# 令和3年度事業計画

## 1. 会議

- ① 通常総会 1回 (4月16日ウェブ開催)
- ② 商議員会 3回 (4月16日ウェブ開催、9月、令和4年2月)
- ③ 幹事会 5回 (4月16日ウェブ開催、7月、9月、12月、令和4年1月)

## 2. 委員会・部会および委員長

### 委員会・部会および委員長

委員会・部会	委員長
① 企画委員会	中野 正樹 (名古屋大学)
② セミナー部会 (地盤工学に関するセミナー運営委員会)	久保 裕一 (中部土質試験協同組合)
③ 技術報告会部会 (調査・設計・施工技術報告会運営委員会)	神谷 浩二 (岐阜大学)
④ シンポジウム部会 (中部地盤工学シンポジウム運営委員会)	藤井 幸泰 (名城大学)
⑤ 見学会部会 (見学会運営委員会)	◎ 永尾 拓洋 (東海旅客鉄道㈱)
⑥ 信州地盤部会 (信州地盤環境委員会)	古本 吉倫 (長野工業高等専門学校)
⑦ 若手技術者部会 (若手技術者の会)	◎ 松田 達也 (豊橋技術科学大学)
⑧ シニア部会 (シニア活性化委員会)	利藤 房男 (名古屋大学)

- ・ 幹事は上記部会のいずれかを担当する。(複数部会への参加も可能)
- ・ ◎印は新委員長

## 3. 行事

### (1) 講演会

期 日：令和3年4月16日(金)

支部長講演

演 題 「あのころの未来に ぼくらは立っているのかなあ 地盤工学 Part I」  
 講演者 名古屋工業大学大学院 工学研究科社会工学専攻 教授 前田 健一  
 (令和3年度地盤工学会中部支部支部長)

受賞講演

演 題 「傾斜地盤上の既設高盛土の表層置換・押え盛土工の耐震性に関する数値解析的検討」

講演者 名古屋大学大学院 酒井 崇之 氏  
 (令和2年度中部支部賞(研究奨励賞)受賞者)

演 題 「管渠周辺地盤における空洞進展メカニズムと空洞対策の優先度評価」

講演者 中日本建設コンサルタント株式会社 川井 望 氏  
 (令和2年度中部支部賞(技術賞)受賞者)

### (2) 委員会・部会行事・活動計画案

#### ① 企画委員会 [委員長：中野正樹]

##### 1) 通常の活動

- ・ 支部中長期活動方針の議論と支部部会再編成の検討
- ・ 支部選出理事、支部選出代議員、支部選出委員、事務局ローテーション案の作成
- ・ 名誉会員等、支部賞、地盤工学会賞、地盤工学貢献賞、事業企画賞、地盤工学出版賞等の推薦

##### 2) 令和3年度の活動

- ・ 企画委員会の構成・運営についての議論

- ・ 支部広報活動についての議論
- ②セミナー部会（地盤工学に関するセミナー運営委員会）[委員長：久保裕一]
- 1) 令和3年度の活動計画について
    - ・ オンライン開催の強みを活かして Zoom によるセミナーを開催する。
    - ・ 対面活動として、ボーリング見学会，土質試験体験実習を実施する。
    - ・ 年度後半には状況を見て対面形式のセミナーも開催する。
    - ・ 若手部会やシニア部会と連携予定である。
    - ・ 会員が視聴可能なオンライン教材の検討を行う。
  - 2) 令和3年度のセミナー，講習会
    - ・ 5月：ボーリング見学会（例年の半分程度の募集人数で開催）
    - ・ 7月：土質試験体験実習，「支持力」講習会・岐阜工業高等専門学校 水野和憲氏
    - ・ 9月：「土圧」講習会・豊田工業高等専門学校 小林 睦氏
    - ・ 10月：若手部会による講習会
    - ・ 11月：シニア部会による講習会
    - ・ 上記以外も随時タイムリーなセミナー・講習会等を企画・実施予定
- ③技術報告会部会（調査・設計・施工技術報告会運営委員会）[委員長：神谷浩二]
- 1) 第30回調査・設計・施工技術報告会の実施
    - 開催日：令和3年6月25日(金)
    - 会場：名古屋大学 ES 総合館 1階 ES ホール
    - ※ 一般発表（12件程度）
    - ※ 特別講演（1件）：吉野 純 氏（岐阜大学 准教授）
  - 2) 中部支部賞（技術賞）の推薦
  - 3) 令和4年度第31回調査・設計・施工技術報告会の企画
- ④シンポジウム部会（中部地盤工学シンポジウム運営委員会）[委員長：藤井幸泰]
- 1) 第33回中部地盤工学シンポジウムの実施
    - 開催日：令和3年8月10日(火)
    - 会場：ZOOMによるオンライン開催
    - 特別講演（1件）
    - 「震災復興と福島県飯舘村での土壌再生など（仮題）」
    - 溝口 勝 氏（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）
  - 2) 優秀発表賞の選出と中部支部賞（研究奨励賞）の推薦
  - 3) 令和4年度開催 第34回中部地盤工学シンポジウムの企画
- ⑤見学会部会（見学会運営委員会）[委員長：永尾拓洋]
- 令和3年度市民見学会の企画
- ・ 社会情勢（新型コロナウイルス感染症に関する動向など）を踏まえつつ、令和3年度の開催に向けた準備を進める。
  - ・ 見学先は、施工中の現場が少なくなる中、既施設も含めて検討する。
  - ・ 従来のバスツアー形式にとらわれず、現地集合・現地解散が可能な現場や施設についてもリストアップする。
  - ・ 昼食を挟まないプログラム（例えば、午後からのプログラム）を検討する。
  - ・ 見学先と調整の上、平日開催を検討する。
  - ・ 開催日、見学先を考慮した適切な参加制限を設定する。
  - ・ 学会の財政も考慮し、適切な参加費用を設定する。
  - ・ チラシ配布場所等に工夫を加えるなど、応募者の増加を図る。
- ⑥信州地盤部会（信州地盤環境委員会）[委員長：古本吉倫]
1. 運営委員会：各行事の運営を行うために打ち合わせや準備を行う。

2. 講演会・および講習会：信州地域の研究者・技術者に発表や、情報交換の場を提供する。講演会を1回または2回企画し、若手技術者、研究者向けの発表会（ジオテクセミナー）を必要に応じて開催する。
3. 秋の見学会：信州地域における地盤環境および土木技術に関する名所を巡る。例年人気が高く、参加費収入と必要経費がほぼ一致する。なお、毎年、長野県地質ボーリング協会と(社)斜面防災対策技術協会から、観光バスのチャーター費の補助を受けている。

⑦若手技術者部会（若手技術者の会）[委員長：松田達也]

- 1) 若手技術者・研究者交流会
  - ・産官学、様々な立場からの情報を収集しながら開催する。
  - ・小規模開催も含め企画する。
  - ・現場見学会の開催を検討する。
  - ・地盤工学における課題を議論、共有する。可能であれば研究テーマを掲げ、部会で研究を行う。
  - ・外部講師を招き、勉強会(異分野融合)の開催を検討する。
- 2) 若手技術者の会員増加および退会防止対策
  - ・会員・非会員を問わず参加できる「土質力学」に関する勉強会を開催する。
  - ・テーマ等は参加者からのアンケート等により決定し、ニーズを把握する。
  - ・勉強会は土質力学の基本をテーマとして、ウェブベースで実施する。
  - ・チャット機能を利用するなど、聴講者の疑問等に対してリアルタイムで検討する。
  - ・勉強会からセミナー部会へのスムーズな移行も視野に入れる。
  - ・GCPDの付与等も検討し、勉強会への参加者増加も目指す。
- 3) 支部ウェブサイトの整備・運営
  - ・開催報告など、積極的に情報を発信できる体制を整える。
  - ・シニア部会と連携し、中部支部ホームページのQ&Aの充実を図る。

⑧シニア部会（シニア活性化委員会）[委員長：利藤房男]

- 1) 第7回地盤工学サロンの開催 令和3年10月予定
  - ・1日目：福井県敦賀市（年縞博物館、NEXCO 舞鶴若狭道向笠地区、水月湖）
  - ・2日目：白山手取川ジオパーク、福井県立恐竜博物館など
- 2) 地盤工学 Q&A の作成
  - ・体系的な取り組みが必要なので、Q&A 作成の実施フロー、体制を検討する。
  - ・若手部会と協働して進める。
  - ・ホームページ更新などの作業が発生するため、学会の関係部署との協働を図る。
- 3) シニア人材の発掘
  - ・シニア活性化委員会の新たな人材確保に向けた取り組みを行う。

⑨災害緊急調査団 [団長：八嶋厚、幹事長：沢田和秀]

災害発生時に迅速に調査団を組織し、調査にあたる。

⑩表彰委員会 [委員長：沢田和秀]

令和3年度地盤工学会中部支部賞の審査・選定

⑪代議員会 [とりまとめ：中井健太郎]

支部運営についての意見交換と提言

⑫広報部会準備 WG [とりまとめ：中井健太郎]

広報部会設立準備

以上

# 公益社団法人 地盤工学会中部支部規程

(平成 22 年 11 月 1 日制定)  
(2019 年 4 月 19 日一部改正)

## 第 1 章 総 則

(支部の名称及び所在地)

第 1 条 公益社団法人地盤工学会（以下「学会」という。）定款第 3 条に基づき中部地区に支部を設け、公益社団法人地盤工学会中部支部（以下「支部」という。）といい、事務局を名古屋市中区栄 2-9-26 ポーラ名古屋ビル 8F に置く。

(支部規程の制定)

第 2 条 支部の運営に関しては、学会規則（以下「規則」という。）第 52 条の規定により、学会定款（以下「定款」という。）及び規則に定めるもののほか、この規程に定めるところによる。

(支部区域)

第 3 条 支部は、規則第 44 条に示す中部地区（静岡県・愛知県・三重県・岐阜県・長野県）在住の会員をもって組織する。

(地域会等)

第 4 条 支部は、地域ごとの会員の情報伝達を促進し、支部運営の効果を向上させるために必要に応じて信州地盤環境委員会を置くことができる。

(事業)

第 5 条 支部は、規則第 46 条に定める範囲において、定款第 5 条に定める事業のうち、支部に関する事業を行う。

## 第 2 章 支部役員

(支部役員)

第 6 条 支部に、次の支部役員を置く。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	2 名
商 議 員	50 名以内
支 部 監 事	2 名
幹 事 長	1 名
副 幹 事 長	2 名以内
幹 事	50 名以内

2 支部に顧問を置くことができる。

(支部役員を選任)

第 7 条 支部役員は、商議員会が支部内の正会員のうちから推薦し、支部総会の決議によって選任する。そのうち、支部長については、正会員から選任しなければならないが、その余の者は特段の事情があれば正会員以外から選任することができる。

2 支部役員が任期中に欠けたときは、次期定例支部総会までの残任期間中に限り、欠員としてその後任者を商議員会において選任することができる。

3 顧問は、支部長が任免する。

(支部役員任期)

第 8 条 支部役員任期は 1 年とする。ただし、支部役員は再任を妨げない。

2 前項の任期 1 年とは、定例支部総会から翌年の定例支部総会終結時までとする。

3 支部役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

4 顧問の任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 欠員として選任された支部役員任期は、前任者の残任期間とする。

(支部役員等の職務)

第 9 条 支部長は、支部を代表し、その会務を総理する。

2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故ある時には、その職務を代行する。

3 商議員は、支部に関する重要事項を審議する。

4 支部監事は、支部の会計及び支部役員業務執行状況等を監査する。

5 幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。

6 副幹事長は、幹事長を補佐し、必要のある場合、幹事長の職務を代行する。

7 顧問は、支部役員に諮問に応ずる。

(支部役員解任)

第 10 条 支部役員は、支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員報酬)

第 11 条 支部役員は、無報酬とする。

## 第 3 章 支部代議員

(支部代議員候補者の選考)

第 12 条 支部は、定款第 7 条及び代議員選挙規則により、支部代議員候補者の選考を行う。

2 支部代議員候補者は、商議員会にて選考する。

## 第 4 章 会 議

(会議)

第 13 条 支部の会議は、支部総会、商議員会、幹事会及び支部委員会とする。

(支部総会)

第 14 条 支部総会は、規則第 47 条の規定により、支部に所属する会員をもって構成する。

2 支部長は、毎事業年度終了後 1 ヶ月以内に定例支部総会を招集する。また、必要に応じて臨時支部総会を招集する。

3 支部総会の議長は、支部長がこれに当たる。

4 支部総会は、次の事項について決議す

る。ただし、支部総会の議事は、予め商議委員会の承認を必要とする。

- (1) 支部役員を選任または解任
  - (2) 支部役員の報酬等の額またはその規定
  - (3) 事業報告及び決算報告の承認
  - (4) 支部規程その他の規程の変更
  - (5) その他、商議委員会で認めた事項
- 5 支部総会は、支部に所属するすべての会員の委任状を含む20分の1以上の出席をもって成立する。
- 6 委任状は、当該議事につき、書面もしくは FAX もしくは電子メールをもって、支部総会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。
- 7 支部総会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

#### (商議員会)

- 第15条 商議員会は、商議員をはじめとする支部役員をもって構成し、議長は支部長がこれに当たる。
- 2 商議員会のうち、1回は毎事業年度開始1ヶ月前までに支部長が招集する。ただし、支部長が必要と認めた場合には、招集しなければならない。
- 3 商議員会は、次の事項を審議する。
- (1) 事業報告及び決算
  - (2) 事業計画及び予算
  - (3) 規程等の制定及び変更
  - (4) 第7条に基づく支部役員の推薦または選出
  - (5) その他、会務運営上の事項
- 4 商議員会は、商議員の委任状を含む過半数の出席をもって成立する。
- 5 委任状は、当該議事につき、書面もしくは FAX もしくは電子メールをもって、商議員会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。
- 6 商議員会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。

#### (幹事会)

- 第16条 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。
- 2 幹事会は、年6回程度開催し、幹事長が招集する。
- 3 幹事会は、商議員会に付議する事業計画、その他会務運営等に関する事項を策定する。

#### (支部委員会)

- 第17条 支部長は、支部活動のために必要があるときは、支部委員会を設置することができる。

## 第5章 会 計

#### (支部の事業年度)

- 第18条 定款第43条に基づき、支部の事業年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終る。

#### (支部の経費)

- 第19条 規則第51条に基づき、支部の経費は、交付金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

#### (支部の事業計画及び収支予算)

- 第20条 支部の事業計画及び収支予算は、毎事業年度開始1ヶ月前までに商議員会が議決し、支部長は直ちに会長に届出て、理事会の承認を得なければならない。
- 2 支部長は、理事会が承認した事業計画及び収支予算を定例支部総会に報告しなければならない。

#### (支部の事業報告及び収支決算)

- 第21条 支部の事業報告及び収支決算は、毎事業年度終了後、支部監事の監査を受けた上で、商議員会の議決を経て定例支部総会の承認を受けなければならない。
- 2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に事業報告及び収支決算報告を会長に届出て、理事会の決議を経て総会の承認を得なければならない。

## 第6章 支部表彰

- 第22条 別に定める支部表彰規程に基づき表彰を行うことができる。

## 第7章 支部規程の改廃

- 第23条 この規程を改廃しようとするときは、商議員会の議決を経て、支部総会の承認を得なければならない。
- 2 支部長は、この規程の変更を行う場合、予め理事会の承認を得なければならない。

## 付 則

この規程は、社団法人地盤工学会が公益社団法人の設立の登記の日から施行する。

この変更規程は、2019年4月19日から施行する。



## 本部理事【中部支部】

(令和3年6月4日、本部通常総会にて選任予定)

小高 猛司                      名城大学  
(副会長)

## 第8期代議員（令和2～3年度）【中部支部】

杉井 俊夫                      中部大学  
張 鋒                              名古屋工業大学大学院  
東野 隆之                      国土交通省中部地方整備局  
中井 健太郎                    名古屋大学大学院  
山根 茉莉子                    (株)テクノサポート  
向井 克之                      基礎地盤コンサルタンツ(株)中部支社  
水野 和憲                      岐阜工業高等専門学校  
利籐 房男                      名古屋大学減災連携研究センター

## 令和3年度 支部顧問名簿

2021年4月9日 現在

川本 眺万	名古屋大学 名誉教授
植下 協	名古屋大学 名誉教授
松岡 元	名古屋工業大学 名誉教授
成田 国朝	愛知工業大学 名誉教授
宮口 友延	
八嶋 厚	岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授
中井 照夫	(株)地域地盤環境研究所名古屋事務所(解析技術開発センター) 技術顧問・中部大学客員教授
山田 雅雄	名古屋市立大学 特任教授
松澤 宏	
小西 純一	信州大学 名誉教授
杉戸 真太	岐阜大学 特任教授、清流の国ぎふ防災・減災センター長
洪水 雅良	(株)中野地質 技師長
板橋 一雄	名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 教授
猪熊 康夫	中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株) 代表取締役
張 鋒	名古屋工業大学大学院 工学研究科社会工学専攻 教授
坪田 邦治	株式会社シマダ技術コンサルタント 技術管理部 部長
中野 正樹	名古屋大学大学院 工学研究科土木工学専攻 教授
山下 研二	
杉井 俊夫	中部大学 工学部都市建設工学科 教授
酒井 俊典	三重大学大学院 生物資源学研究科 教授
野田 利弘	名古屋大学大学院 工学研究科土木工学専攻 教授
小高 猛司	名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 教授

## 令和3年度 事務局担当者

支部長	前田 健一	名古屋工業大学 社会工学専攻環境都市分野 高度防災工学研究センター 教授
幹事長	小林 睦	豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 教授
副幹事長	岩井 裕正	名古屋工業大学 社会工学専攻環境都市分野 助教
事務員	瀧瀬 育子	公益社団法人土木学会中部支部 職員(業務委託)

公益社団法人 地盤工学会中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-26 ポーラ名古屋ビル8F

TEL: 052-222-3747 FAX: 052-222-3773

E-mail: jibanchu@jeans.ocn.ne.jp